

神奈川ネットワーク運動 海老名

No.111

2019年7月20日発行

発行責任：神奈川ネットワーク運動海老名
代表 斎藤いずみ
発行部数 29,000部

〒243-0422
神奈川県海老名市
中新田 1-11-11
TEL：046-235-7014
FAX：046-234-5302

<http://ebina.kanagawanet.jp>
e-mail:ebinanet@mub.biglobe.ne.jp



市議会議員 西田ひろみ

生き活きまちづくりレポート

西田ひろみの議会報告



1 交通安全対策

(1) 運賃助成で高齢者の安全対策を

4月から高齢者が関わる大きな交通事故が起きています。高齢者の外出は、生活を維持するとともに、社会につながることで。住み慣れた地域で生活していくために、公共交通の整備と共に、安価で公共交通等を利用できるよう、運賃の助成について提案しました。

市の回答：交通費の助成は考えていない。

*コミバスは往復300円、海老名駅まで路線バスで往復600円の地域もあります。年金が先細る中で、外出を困難にします。兵庫県西宮市では、電車・バス・タクシーのICカードや回数券の購入・チャージに割引が受けられる「高齢者交通助成割引購入証(年間5千円)」が70歳以上の市民に郵送される制度があります。多様な交通手段のある海老名市の参考になる方法です。今後も市に提案していきます。

(2) 学童保育の交通安全対策

市内には49か所の学童保育施設がありますが、学校の敷地内にあるのは上星小・中新田小・社家小・門沢橋小の4か所のみです。下校時の学童保育所までの交通安全対策について聞きました。

市の回答：学童保育施設は通学圏内にあるので通学路の安全点検をすることで、下校路の安全が図れています。

*夏休みなどの園外活動時の安全対策は施設毎でなく、施設間で共有を図るよう提案しました。全学童保育は民設民営ですが、学童施設にお任せでなく市と協働での安全対策が必要です。

2 幼稚園・保育園の無償化

消費税の値上げ分を財源に今年10月から幼稚園・保育園の無償化が実施されます。対象は幼稚園、認可保育施設や認可外保育施設の3歳～5歳の子どもと住民税非課税世帯の保育料です。

(1) 食材費の助成を

新たに保育所の副食費が実費負担となります(年収360万円以下は無料)。今まで保育料に含まれていましたが、幼稚園の食材費が実費負担となっているためです。国の制度ですが食材費の額は市で決定できます。保育所の給食は食育として保育の一貫であることから市が食材費を助成し、現行の主食費(副食費+主食材)1,000円までにすることを提案しました。

市の回答：国の基準や近隣市の動向を観ながら設定します。

(2) 保育の質の確保に条例の制定を

市内の認可外保育施設は11、園児は70人です。市は現在、劣悪な保育環境の施設はないとの見解ですが、今後まちの開発が進むことや働き方の多様化に対応して、ベビーホテルのような施設ができることも想定できます。認可外施設の設置基準は保育士配置数など認可保育施設の1/3です。安全性を担保できない保育施設には、市の条例で無償化の規制を掛けることが必要です。条例の制定について市の見解を聞きました。

市の回答：現在は考えていません。

*保育の必要性の認定を受けることで、一時保育や幼稚園の延長保育が無償で利用できるなど、子育て支援につながるよう、市民に的確な情報の周知が必要です。



市民発・平和の集い
《報告》

腹話術で伝える父、日比野勝廣の沖縄戦

4月27日(土)文化会館120サロンで、藤沢市の柳川たづ江さん(64歳)が、父の沖縄戦体験を腹話術によって人形フクちゃんと共に語り伝えた。父日比野勝廣さんは、沖縄戦で腕を負傷し破傷風になった。生きる見込みのない兵士はガマの中で置き去りにされて死を待つほかなかった。最後の糸数チビチリガマでは150人の負傷兵の中で生還したのは9名。いくつもの奇跡に加え、生への渴望が日比野さんを死の淵から引き戻した。戦後もなお生き残ったことに苦しみ続け、夜うなされた。かつてガマで息絶えた戦友を弔いに沖縄へ100回も足を運び、沖縄戦の自らの体験を語り伝

える手記を残し、事実をそのまま語った。日比野さんは、沖縄戦での体験を語り継ぐために生かされたのではないかとすら思う。その苦しみに耐える父の姿を見て育った娘たち4人は、父の戦争体験を語り継ぐ語り人となった。

柳川さんと人形のフクちゃんに海老名の子どもたちにも語り継いでもらう機会をつくりたい。母と参加した小学生の少女がいた。これから生きる子どもたちに「平和」であり続けること、戦争への道を決して進まないことを約束し実現しなければ。それは、今生きるすべての大人たちの責任だ。

(市民発・平和の会 三谷裕美子)



日比野勝廣さんの著書

電磁波学習会

講師…上田昌文氏
NPO法人市民科学研究室

利便性を求めた現在の生活は、目に見えない電磁波が身の回りに飛び交っている。

携帯電話やスマホは、驚くほど強い電波のため、耳から

1・5cmは話すように注意書きがある事を知っている人がどれだけののでしょうか。

また長年使用による脳腫瘍など発ガン性が確認されている。

特に乳幼児を抱えてのスマホの扱いは避けたい。神経系統が未完成、細胞分裂が盛ん、頭蓋骨が薄い

ので影響が出やすい。スマホ守りも禁物だ。男性のズボンポケットへの収納は、常に基地局と交信しているため精子異常や不妊のリスクにつながる。電

波を繋ぐ基地局は、全国で70万基にも及んでいる。スマホの長時間ゲームによる子どもの内斜視(寄り目)が指摘されており、物が2重に見える症状が出ている。なお日本では、100万人がゲーム依存症

と言われ脳へのダメージにより、手に無いとパニック状態や精神的不安になり深刻である。今後オンラインピックに合わせ新たに大容量の5Gが、進められようとしている。基地局として、電柱、信号機、

マンホールを使用するという、想像を超える電磁波の中での健康被害は、大変心配だ。

ベルギーでは、5Gは人体への影響を考え取り扱わないことが決まった。日本は、国民の安全より経済優先の政策を進めるのみで健康への危機意識の無さに、強い憤りを感じる。現状を考えると、早急に

適正な使い方のルールをつくり社会全体で進めることが必要だ。まずは、免疫力をあげることが大切だ、正しい知識と情報を知り健康被害を少なくすることが必要だと感じた。

(斉藤)

*スマホ(スマートフォン) *5G(第5世代移動体通信)



世界に2つだけの平和憲法

海老名共同行動市民の会主催の講演会

国際ジャーナリスト伊藤千尋氏の講演の一部を報告します。

カナリア諸島のテルデ市に「ヒロシマ・ナガサキ広場」があり、そこに日本国憲法9条の記念碑があるという。当時の市長は「市民が平和について考える広場にしよう」と、軍隊廃止を宣言する日本国憲法9条の記念碑を造ることを市議会に提案し、満場一致で採択したそうだ。また、トルコのトロイ遺跡がある村にも「ヒロシマ・ナガサキ公園」があり、憲法9条を刻んだ記念碑がある。もちろん日本国内にも沖縄を始め21か所に9条の碑がある。「将来、国際憲法ができるなら日本の9条がモデルになるかもしれない」と豪州の憲法学者ソンドース教授は言う。

そして、9条がうたう「戦争放棄、軍隊廃止」を実現したのが、中米の国コスタリカだ。アリアス大統領は、近隣3国内の内戦を調停しノーベル平和賞を受賞した。国内では「兵士の数だけ教師をつくらう」と、その費用を「高校まで完全無償、大学生の70%は返済不要の奨学金、富裕層は年間3万円を払う」という政策に回した。また憲法を活用し、小学生が違憲訴訟を起こしたり、大学生が大統領を憲法違反で訴え勝訴したこともある。このように日本国憲法が真に活かされる日が日本には来るのだろうか。(廣田)

自民党の改憲草案を詳しく知ろう

昨年9月から毎月第1金曜日に憲法カフェを始めて1年近くになります。

日本だけではなく世界の宝とも言える憲法9条をはじめ様々な憲法について勉強してきました。しかし、今年の3月に示された自民党の憲法改正草案で「緊急事態条項」という文字が、目にとまりました。「非常事態の際に政府に権限を集中させて、国民の権利を制限する」という「緊急事態上告」を権力者にとって都合の良いものにならないように、詳しい人を交えて学習会を開催したいと思います。皆さんもご参加ください。(つつ木みゆき)

西田ひろみのお話タイム

- 8月6日(火) 10:00～12:00 杉久保第2自治会館
- 8月7日(水) 10:00～12:00 国分寺台文化センター
- 8月8日(木) 10:00～12:00 勝瀬文化センター
- 8月16日(金) 10:00～12:00 国分北集会所

このほかにも開催する場合は、地域にチラシでお知らせします。議会後には地域に出向いてコミセンや個人宅などで議会報告会を行っています。問い合わせ先：西田 046(234)1539

編集後記 年金6万円で、カツカツで暮らしている高齢者が身近にいます。老後の生活費2千万円問題が取りざたされていますが、誰もが暮らしに困らない政策を考えて下さいよ、国会議員殿。(H)

*生き生きまちづくりレポートはボランティアが配布しています。お手伝いしていただける方を募集しています。事務所までご連絡ください。

「高座クリーンセンター」見学

海老名、座間、綾瀬の3市の可燃ゴミを処理している「高座クリーンセンター」に見学に行ってきました。今年の4月から新しく処理施設が稼働したばかりで、真新しい施設内には最先端の技術による高効率なゴミ発電と、徹底したリサイクルに驚きました。

それでも寿命は30年だそうで、意外に短いと感じました。施設内には環境プラザがあり、エコキッズパーク、足踏み発電マシーン、音楽室、キッチン、陶芸窯室などがあり沢山の人が集える場所になっていて、地域との共存を目指しています。

自分たちの出したゴミがどのようにして処理されているのかを知ること、責任を持ってゴミを出すことにつながると思います。(樋渡)

これまでの焼却炉は2基で350トン/日でした。しかし新しい焼却炉は2基で245トン/日となり、3割も焼却能力が少なくなっています。今秋から海老名市が先陣を切って家庭系の燃やせるゴミと、燃やせないゴミの有料化が始まります。家庭系・事業系ともに3市が一層のゴミ減量対策を取っていかねばなりません。(環境部会 高林)

22th 川歩き 永池川 川歩き

永池川は海老名市に水源があり、市の中央を流れ相模川に注ぐ一級河川です。5月11日(土)、「第22回川歩き」を実施しました。

当日は晴れ、参加者43名(大人26名子ども17名)で、毎年歩いている所が工事のため少し下流を歩きました。

魚はオイカワやムギツク他9種類、水生生物はヤゴ、モクズガニ他19種類が採取できました。ゴミは大きなものはありませんでしたが、相変わらずビニール類・空き缶が多いです。

年に一回の川歩きですが、毎年続けていくことで参加された方が川に関心を持ち、環境の事を考えてくれればと思います。(伊藤)

6月議会から

- ・「公園条例の一部改正」の議案が賛成多数で可決され、2020年4月から海老名中央公園は指定管理者による管理となる。市直営より管理費が高くなること、駅自由通路との一体管理による賑わい創出で、市民利用の制限が危惧されることから反対しました。
- ・収集員不足から、職員が研修と称して9/30～半年間にごみ収集に携わるなど、見切り発車のごみ有料化戸別収集に関する事業費と国対象以外に全市民対象のプレミアム商品券発行に全額9,500万円市費を投入する事業が含まれる一般会計補正予算に反対しました。